

歴史認識の越境化と公共史の実践



けんもち ひさき
国際言語文化学科 剣持 久木

● 連絡先 TEL : 054-264-5253 FAX : 054-264-5253

キーワード

歴史認識, 公共史, ヨーロッパ, 歴史教科書, 博物館, 東アジア



オバマ大統領の広島訪問によって日米間の歴史認識問題は大きく前進したかもしれないが、東アジアでは歴史認識問題は依然大きな障害になっている。本研究は歴史認識問題の解決のために、地域統合が進むヨーロッパで進行中の「公共史」の実践に注目する。歴史認識問題を公共史の問題と捉え直すならば、国際的な次元と国内的な次元の二つが存在する。本研究は、この二つの次元における公共史の実践を総合的に検討し、歴史研究と社会のニーズとの相関関係という視点で考察する。国際的には、国境を超える歴史教科書、博物館などの状況を、国内的には多様なメディアを通じた歴史研究の成果の啓蒙/受容の関係性を検討する。いわば、歴史認識をめぐってタテ(専門家/一般)とヨコ(国境)に存在してきた境界を超える可能性についての研究である。

ヨーロッパにおける公共史の実践

国境を超える歴史教科書と博物館：ヨコの公共史



独仏共通教科書



ドイツ・ポーランド
共通教科書



ペーネムünde第一次大戦博物館



ドレスデン連邦軍事博物館

歴史研究の成果の啓蒙：タテの公共史



フランスの歴史ドラマ



ドイツの歴史ドラマ



フランスの実話映画



歴史家ヴィンクラーの連邦議会演説
(2015年5月8日)

下段右の写真 引元： https://www.bundestag.de/webarchiv/textarchiv/2015/kw19_gedenkstunde_wkii_rede_winkler-373858

アピールポイント

日本と近隣諸国の間の歴史認識問題解決のための具体的な提言を行います。